

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●高田潤騎手が単独8位となるJRA障害通算161勝を達成

9月13日(土)の4回中山3日・第4レースではフェーレンベルクが1着となり、同馬に騎乗した高田潤騎手(栗東・フリー)のJRA障害通算勝利数は161勝となりました。これは北沢伸也元騎手の160勝を抜き、JRA史上単独第8位の記録となります。

●川田将雅騎手がJRA通算2200勝を達成

9月14日(日)の4回阪神4日・第2レースではダイヤモンドノットが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、史上7人目・現役4人目となるJRA通算2200勝(1万2947戦目)を達成しました。

●戸崎圭太騎手がJRA年間100勝を達成

9月14日(日)の4回中山4日・第2レースではフクチャンショウが1着となり、同馬に騎乗した戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)は、JRA年間100勝を達成しました。戸崎騎手にとっては4年連続11回目で、今年度1人目となるJRA年間100勝達成です。

●ゴールデンジョッキーカップのJRA参加騎手が決定

9月24日(水)、園田競馬場で開催される第32回ゴールデンジョッキーカップに、JRAからは戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)、岩田康誠騎手(栗東・フリー)、横山典弘騎手(美浦・フリー)が参加することとなりました。この競走は通算2000勝以上をあげた中央および地方競馬の騎手が招待されるものです。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド名古屋の結果

2025ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド名古屋は9月17日に実施され、第1戦は西塚洸二騎手(栗東)、第2戦は松本一心騎手(笠松)が制しています。

●ゴーパディがゴールドジュニア(大井)に優勝【各地の2歳重賞】

ゴールドジュニア(9月4日、大井、1,400^円)は、4番手から差を詰めたゴーパディ(牡、父マテラスカイ)が残り50^mで差し切り、単勝1.1倍の支持にこたえてデビュー2戦目から3連勝。石川テレビ杯(9月14日、金沢、1,400^円)は、先手を取った1番人気のエムティジーク(牡、父ダノンプレミアム)が6馬身差の圧勝を収めました。

●戸塚記念(川崎)はナイトオブファイア【各地の主要3歳重賞】

戸塚記念(9月10日、川崎、2,100^円)は、3番手から直線入口で先頭に立った単勝1.9倍で2番人気の羽田盃2着馬ナイトオブファイア(牡、父ホッコータルマエ)が4馬身差で楽勝。逃げた同じく単勝1.9倍も僅差で1番人気だった東京ダービー3着馬シーソーゲームは3着でした。

●エートラックスらが参戦、9月23日のオーバルスプリント(浦和)

オーバルスプリント(JpnⅢ、9月23日、浦和、1,400^円)は、過去にこの馬で園田と大井で重賞勝ちのJ.モレイラ騎手が騎乗予定のエートラックスが中心、この距離でオープン特別3勝のサンライズフレイムと牝馬ガビーズシスターが続き、以下ハッピーマン、さきたま杯2着馬ムエックス(船橋)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1アイリッシュチャンピオンS〜ドラクロワが制す

現地9月13日にアイルランドのレパーズタウン競馬場で行われたG1アイリッシュチャンピオンS(3歳上、芝2,000^m)は右大腿骨の骨折で戦列を離れたR.ムーア騎手に替わって手綱を取ったC.スミヨン騎手を背にしたドラクロワ(牡3歳、父ドバウイ)が後方追走から最終コーナーで一気に先頭に躍り出ると、昨年のG1英チャンピオンSの勝ち馬アンマートに3/4馬身差をつけて優勝しました。日本から参戦のシンエンペラーは先行策から伸びを欠いて6着でした。勝ったドラクロワは今年7月のG1エクリプスS(芝1,990^m)でオンブズマンを下してG1初制覇を果たした後、前走8月のG1インターナショナルSはオンブズマンの2着でした。なお、管理するA.オブライエン調教師はこのレース13勝目。自身の持つ最多勝記録を更新しました。

●G3ブランドランジュ賞〜クロワデュノールが優勝

9月14日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG3ブランドランジュ賞(3歳上、芝2,000^m)は北村友一騎手とのコンビで7頭立ての4番手でレースを進めたクロワデュノール(牡3歳、父キタサンブラック、栗東・斉藤崇史厩舎)が直線半ばで先頭に立つと、G2ウジェーヌアダン賞の勝ち馬ダリズの追い上げを短アタマ差しのいで優勝。6月1日の日本ダービー(GI)(芝2,400^m)以来となるレースを白星で飾りました。